

川崎商工会議所 中小企業景況調査 2024年10~12月期 調査結果

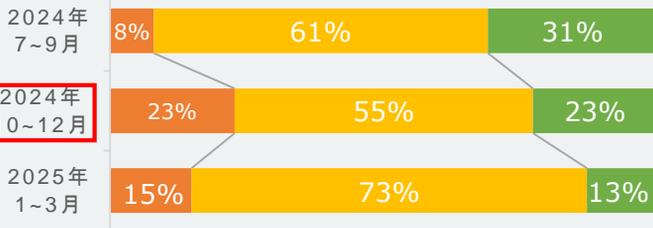
●調査対象 川崎商工会議所会員 80事業所 ●調査時期 2024年10月30日~11月20日

1 業況について

◆今期（10~12月）は悪化が減少したものの好転は3割に満たず、不変が5割以上占めていることから全体としては厳しい状況が続いていることが窺える。

◆来期（1~3月）は好転・悪化が減少、不変が7割を超えており引き続き慎重な予測である。
業種別では建設業で悪化が0、サービス業では好転が約4割に増加、悪化が1割未満に減少、卸売業では悪化が1割に減少しており、やや明るい兆しがみられる。

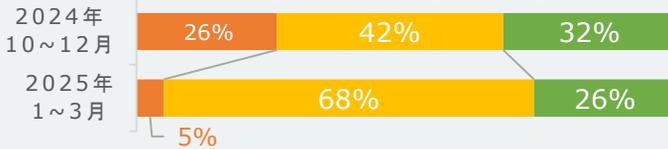
■好転 ■不変 ■悪化



■業種別

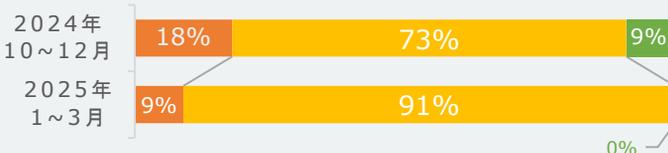
【製造業】

■好転 ■不変 ■悪化



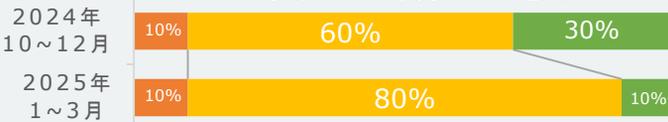
【建設業】

■好転 ■不変 ■悪化



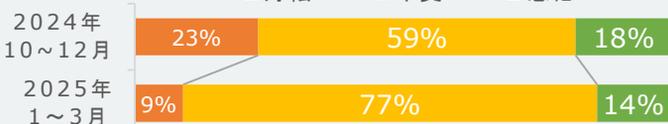
【卸売業】

■好転 ■不変 ■悪化



【小売業】

■好転 ■不変 ■悪化



【サービス業】

■好転 ■不変 ■悪化



2 設備投資について

[今期（2024年10月~12月）]

実施した：10%

実施していない：90%

<実施内容>

設備	車両・運搬具	付帯施設	OA機器
50%	25%	13%	13%

[来期（2025年1月~3月）]

計画している：11%

計画していない：89%

<計画内容>

設備	車両・運搬具	OA機器	その他	建物
22%	22%	22%	22%	11%

3 経営上の問題点 [複数回答]

◆全業種で「原材料価格等の上昇」「従業員の確保難」が挙げられている。また、サービス業以外で「需要の停滞」が上位に挙げられた。これに関連して小売業では「消費者ニーズの変化への対応」が挙げられている。

◆建設業では、上記課題の他に「新規参入業者の増加」の回答もあった。様々な経費がかさむ中で、顧客獲得の価格競争もさらに進んでいることが推察される。

【製造業】

順位	問題点	割合
1位	原材料価格の上昇	37%
2位	・需要の停滞 ・熟練技術者の確保難	21%
3位	・人件費の増加 ・従業員の確保難	16%

【建設業】

順位	問題点	割合
1位	従業員の確保難	36%
2位	・材料価格の上昇 ・材料の入手難 ・熟練技術者の確保難	27%
3位	・新規参入業者の増加 ・材料費・人件費以外の経費の増加 ・事業資金の借入難 ・官公需要の停滞 ・下請業者の確保難	9%

【卸売業】

順位	問題点	割合
1位	・人件費以外の経費の増加 ・需要の停滞	40%
2位	仕入単価の上昇	30%
3位	・大企業の進出による競争の激化 ・小売業の進出による競争の激化 ・従業員の確保難	10%

【小売業】

順位	問題点	割合
1位	仕入単価の上昇	50%
2位	需要の停滞	41%
3位	・消費者ニーズの変化への対応 ・従業員の確保難	27%

【サービス業】

順位	問題点	割合
1位	材料等仕入単価の上昇	44%
2位	人件費の増加	39%
3位	従業員の確保難	22%